

UFC 道路橋床版研究会

2022 年度 定時総会

日 時：2022 年 6 月 6 日（月）13:30～14:30

開催場所：TKP 大阪本町カンファレンスセンター ホール 3B
（大阪府大阪市中央区久太郎町 3-5-19 大阪 DIC ビル 3 階）
※オンライン併用

次 第：

第 1 号議案 2021 年度事業報告

第 2 号議案 2021 年度決算

第 3 号議案 新規入会について

第 4 号議案 2022 年度事業計画

第 5 号議案 2022 年度予算

（参考資料）

会則及び細則

役員名簿

会員名簿

技術委員名簿

2021 年度 事業報告

総会、幹事会、技術委員会の開催

○総会の開催

- ・日時：2021 年 10 月 1 日（WEB開催）
- ・2020 年度の事業報告及び決算報告、2021 年度の事業計画及び予算案について審議。役員の選任、一般会員 1 社の入会について承認。

<特別講演>

- ・岐阜大学 内田裕市教授（技術委員会委員長）
「UFC の現状と今後」
- ・鹿島建設㈱ 齋藤公生さま
「UFC 道路橋床版の実適用を通して見えたこと」

○幹事会の開催・2021 年度総会議題の審議、研究会の運営等に関し審議

○技術委員会での活動状況

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより実施を見送り

技術セミナーの開催

○技術セミナーの開催

日時：2022 年 2 月 18 日（金）14:00～17:10

場所：LIVE 配信

技術セミナーは、TKP 大阪本町カンファレンスセンター（対面）＋LIVE 配信を予定してところであるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、LIVE 配信のみにて開催。当日は産学官、各方面から合計 200 名を超える参加を頂いた。

当日のセミナー動画については当研究会 HP にて公開中。

<http://www.ufcdeck.com/>

UFC道路橋床版研究会 技術セミナー

主催：UFC 道路橋床版研究会



UFC 道路橋床版研究会では、公益社団法人土木学会などの公的機関から技術評価を受けている超高強度繊維補強コンクリート（UFC）を用いた道路橋床版の設計、製作、施工及び維持管理に関わる技術の向上、ならびに普及を通じて社会貢献することを目的として活動しています。

この度、これまで本研究会において蓄積してきたノウハウを会員、非会員に関わらず広く発信し、耐久性に優れた道路床版の建設・更新に貢献したく、下記のとおり技術セミナーを開催しますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

日時

2022年 2月 18日(金) 14:00～17:10

場所

TKP 大阪本町カンファレンスセンター ホール 3A
(大阪府大阪市中心区久太郎町 3-5-19 大阪 DIC ビル 3F)

参加費

無料

LIVE
配信

プログラム

開始時間	テーマ	講師
14:10	UFC材料	内田 裕市氏 岐阜大学 教授
14:30	UFC床版総論(開発、他床版との比較)	小坂 崇氏 阪神高速道路(株)
14:50	UFC床版性能(実験、解析に見る性能)	一宮 利通氏 鹿島建設(株) 小坂 崇氏 阪神高速道路(株)
15:10	UFC床版設計	渡邊 裕規氏 (株)総合技術コンサルタント
15:40	UFC床版製作	八木 洋介氏 (株)富士ピー・エス
16:00	UFC床版架設	齋藤 公生氏 鹿島建設(株)
16:20	UFC床版Q&A(今後の展望含む)	小坂 崇氏 阪神高速道路(株)
16:40	UFC/UHPCの活用海外事情	三木 朋広氏 神戸大学 准教授

(各回20分)

※講演テーマ、講師、講演時間は事情により変更となる可能性があります。

応募方法

メールタイトルを「UFC セミナー応募」として、所属、役職、氏名、参加方法（来場またはLIVE 配信）を記載のうえ、hit-info@hit.or.jp までメールにてお申込ください。

締切

2022年 2月 8日(火)

定員

当日来場 50名、LIVE 配信 100名

※来場希望者多数の場合は、LIVE 配信でのご参加をお願いする場合がありますので予めご了承ください。

新型コロナウイルス
感染症対策について

本セミナーは新型コロナウイルス感染対策を講じた運営体制のもと実施します。
来場される方にもマスクの着用・アルコール消毒・検温などのご協力をお願いします。
また、当日体調の優れない方は来場をご遠慮ください。

お問い合わせ

UFC 道路橋床版研究会 事務局 ((一財) 阪神高速先進技術研究所内)
hit-info@hit.or.jp TEL : 06-6232-6029

UFC道路橋床版研究会 技術セミナー動画について

UFC研究会HP
(<http://www.ufcdeck.com/>)



ニュース・トピック

2022.2.18

UFC道路橋床版研究会技術セミナーは、産学官、各方面から合計200名を超えるご参加をいただき、盛会のうちに無事終了することができました。お忙しいなかご参加いただき、ありがとうございました。

日時：2022年2月18日（金）14:00～17:10

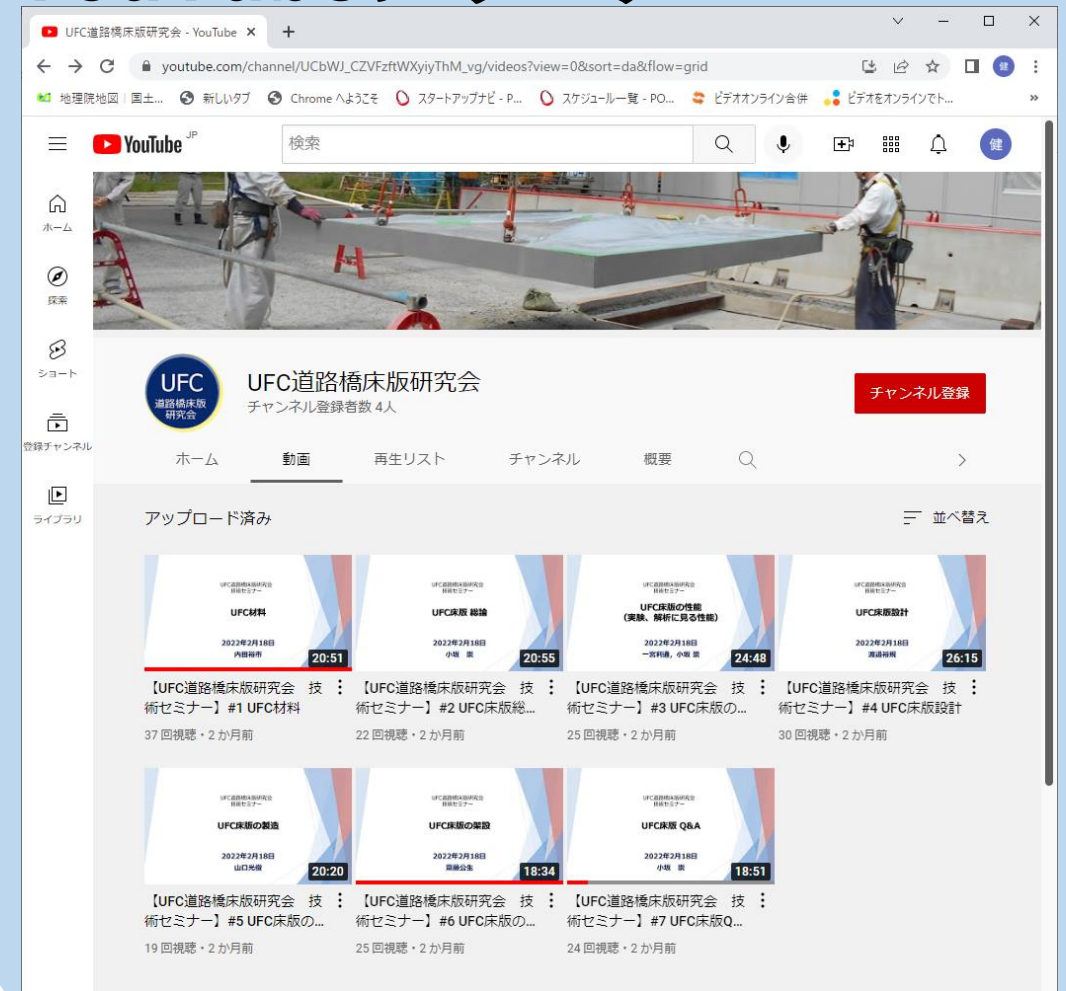
場所：TKP大阪本町カンファレンスセンター+LIVE配信 参加費：無料

動画ライブラリ https://www.youtube.com/channel/UCbWJ_CZVFzftWXyiyThM_vg/videos

2021.10.1

2021年度 定時総会が開催されました。新役員が選任されました。また、新規入会として中央コンサルタンツ（株）様が加入され会員会社が33社になりました。総会后、特別講演として岐阜大学の内田裕司教授（技術委員会委員長）から「UFCの現状と今

YouTubeにリンク



セミナー動画をライブラリ化
ぜひ、ご活用ください！

広報活動状況

○新聞への広報

- ・「橋梁新聞」(2021/10/21 発行) への本研究会に係る広告記事を掲載
(二羽会長へのインタビュー記事とともに掲載)

(21) 2021年10月21日(木曜日)

橋 梁 新 聞

(第三種郵便物認可)

第1474・1475号

100年相当の走行回数 塩化物イオン到達は約3000年

UFC道路橋床版は2017年に発表されてから平板型UFC床版、ワッフル型UFC床版ともに高速道路のリニューアル事業の床版代替で実績がでた。技術が確立され、わが国で数年前の受託を得ている。技術概要を特稿、どういった条件に適用できるのか、実際に施工してわが国に知見を、UFC道路橋床版研究会(二羽淳一郎会長・東京工業大学名誉教授)に聞く。根津孝二

二羽淳一郎会長
UFC床版の技術の概要から説明します。二羽会長、UFC道路橋床版は180N/㎡という高い圧縮強度、鋼繊維の補強効果にも高い引張抵抗性、劣化の原因となる塩化物イオンや水をほとんど通さない高耐久性を併せ持つ超強度繊維補強コンクリート(UFC)を用いて製作したレキャスト床版です。クレーンなどの搬送設備の配置が制限される都市部の高層橋床版の取替工事や軟弱地盤、懸垂を要しています。これにより、

鋼、コンクリート両床版代替に
UFC道路橋床版研究会(二羽淳一郎会長・東京工業大学名誉教授)に聞く。根津孝二

二羽会長、UFC道路橋床版は180N/㎡という高い圧縮強度、鋼繊維の補強効果にも高い引張抵抗性、劣化の原因となる塩化物イオンや水をほとんど通さない高耐久性を併せ持つ超強度繊維補強コンクリート(UFC)を用いて製作したレキャスト床版です。クレーンなどの搬送設備の配置が制限される都市部の高層橋床版の取替工事や軟弱地盤、懸垂を要しています。これにより、

UFC道路橋床版研究会(二羽淳一郎会長・東京工業大学名誉教授)に聞く。根津孝二

二羽会長、UFC道路橋床版は180N/㎡という高い圧縮強度、鋼繊維の補強効果にも高い引張抵抗性、劣化の原因となる塩化物イオンや水をほとんど通さない高耐久性を併せ持つ超強度繊維補強コンクリート(UFC)を用いて製作したレキャスト床版です。クレーンなどの搬送設備の配置が制限される都市部の高層橋床版の取替工事や軟弱地盤、懸垂を要しています。これにより、



平板型、ワッフル型ともに実績 技術評価され受賞多数



旋回可能な専用架設機による床版の架設(守口線)

ワッフル型UFC床版 受賞歴
2011年度PC工学会(技術開発賞) 2018年度土木学会中賞(作品部門)
2021年度コンクリート工学会賞(技術賞) 2018年度PC工学会賞(技術開発賞)
2021年度エンジニアリング功労賞

UFC床版 軽量かつ高耐久実現

UFC道路橋床版研究会は、公益社団法人土木学会などの公的機関から技術評価を受けている超強度繊維補強コンクリート(UFC)を用いた道路橋床版の設計、製作、施工および維持管理に関する技術の向上、ならびに普及を通じて社会貢献することを目的とした研究会です。

新設橋や老朽化が問題となっている既設橋の床版に、軽量かつ耐久性の高いUFC道路橋床版の適用が見込まれ、この床版の普及が期待されているとこです。当研究会では、下記の活動を行っています。

- UFC道路橋床版に関する設計、製作、施工および維持管理データ、技術に関するマニュアルの作成、動向などの調査を行っています。
- 技術講習会や現場見学会への参加による設計、製作、施工および維持管理に関する技術の研鑽が出来ます。
- その他、会員会社の皆様へ役立つような研究会事業を予定しています。

LCC 高い効果期待

二羽会長、UFC道路橋床版は180N/㎡という高い圧縮強度、鋼繊維の補強効果にも高い引張抵抗性、劣化の原因となる塩化物イオンや水をほとんど通さない高耐久性を併せ持つ超強度繊維補強コンクリート(UFC)を用いて製作したレキャスト床版です。クレーンなどの搬送設備の配置が制限される都市部の高層橋床版の取替工事や軟弱地盤、懸垂を要しています。これにより、



軽量かつ耐久性の高いUFC道路橋床版

UFC道路橋床版研究会

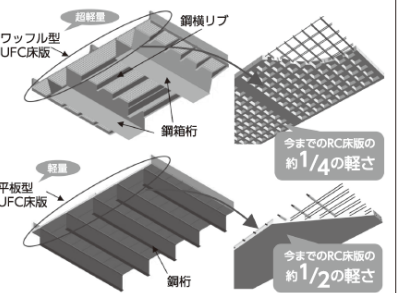
会長 二羽淳一郎 教授(東京工業大学名誉教授)
技術委員長 内田裕市 教授(岐阜大学)
技術委員 奥井義昭 教授(埼玉大学)、三木朋広 准教授(神戸大学)

会 員

- | | | |
|--|---|--|
| ㈱IHIインフラ建設
エム・エムブリッジ㈱
㈱オリエンタルコンサルタンツ
オリエンタル白石㈱
血島建設㈱
カシマ・リノベイト㈱
㈱技建
㈱北川設計
ケイコン㈱
㈱建設技術研究所
GCP ケミカルズ㈱
清水建設㈱ | 昭和コンクリート工業㈱
住友電気工業㈱
㈱総合技術コンサルタント
大日本コンサルタンツ㈱
中央コンサルタンツ㈱
中央建設コンサルタンツ㈱
㈱長久
㈱東洋建設
トービー建設工業㈱
日本工営㈱ | ㈱日本橋建設研究所
日本コンクリート工業㈱
バシフィックコンサルタンツ㈱
㈱阪神高速技術
㈱阪神高速技術研究所
(一財)阪神高速先進技術研究所
㈱阪神高速道路
㈱東セビー・エス
三井住友建設㈱ |
|--|---|--|

(2021年10月現在33社 五十音順)

【URL】<http://www.ufcdeck.com/> 【E-mail】info@ufcdeck.com
事務局 〒541-0054 大阪市中央区南本町 4-5-7 東宝ビル 2F (一財)阪神高速先進技術研究所内



UFC道路橋床版研究会は、公益社団法人土木学会などの公的機関から技術評価を受けている超強度繊維補強コンクリート(UFC)を用いた道路橋床版の設計、製作、施工および維持管理に関する技術の向上、ならびに普及を通じて社会貢献することを目的とした研究会です。

新設橋や老朽化が問題となっている既設橋の床版に、軽量かつ耐久性の高いUFC道路橋床版の適用が見込まれ、この床版の普及が期待されているとこです。当研究会では、下記の活動を行っています。

- UFC道路橋床版に関する設計、製作、施工および維持管理データ、技術に関するマニュアルの作成、動向などの調査を行っています。
- 技術講習会や現場見学会への参加による設計、製作、施工および維持管理に関する技術の研鑽が出来ます。
- その他、会員会社の皆様へ役立つような研究会事業を予定しています。

役員の変更

○幹事の変更

規則第 12 条第 5 号の規定に基づき、任期中に退任した役員の補欠者として、会長の指名を受け以下のとおり変更。

役 職	氏 名	所属先	変更日
幹事	太田 和宏 氏	(株)IHI インフラ建設	2022 年 4 月 1 日
(旧)	関根 肇 氏	同上	

＜参考＞研究会会則

第 12 条 幹事は、第 4 条に定める 特別会員及び一般会員の互選による。

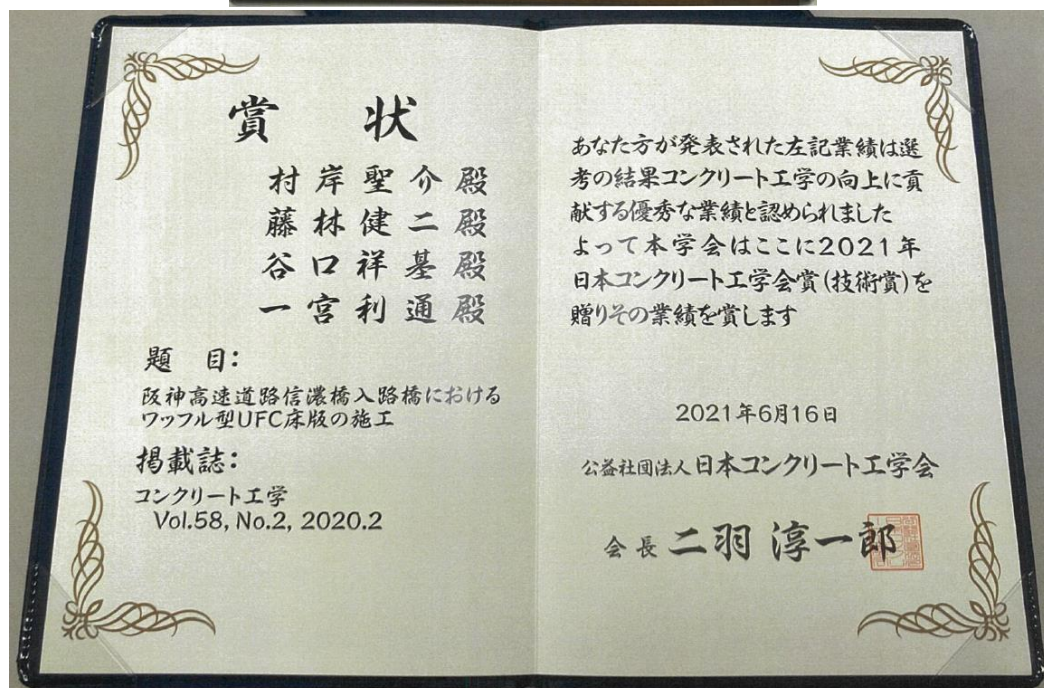
5 本条第 1 項及び本条第 3 項に規定する役員に関するうち、任期中に退任した役員の補欠者については、幹事会からの推薦を受け、会長が指名する。

その他 UFC 道路橋床版に係る関連情報

○2021 年度 日本コンクリート工学会（技術賞）受賞

「阪神高速道路信濃橋入路橋におけるワッフル型UFC床版の施工」

（阪神高速道路㈱、鹿島建設㈱）



○関西道路研究会 優秀業績賞 受賞

「阪神高速本線橋における急速床版取替」(阪神高速道路㈱)

表 彰 状

優秀業績賞

「阪神高速本線橋における急速床版取替」

阪神高速道路株式会社

管理本部 管理企画部 様

大阪保全部 様

あなたの頭書の業績は極めて優秀であり本会
の発展に大きく寄与し 又我が国の道路事業
に多大の貢献をなすものであります

ここに審査委員会の審査を経てその功績を
たたえ記念品を贈り表彰します

令和三年八月三日

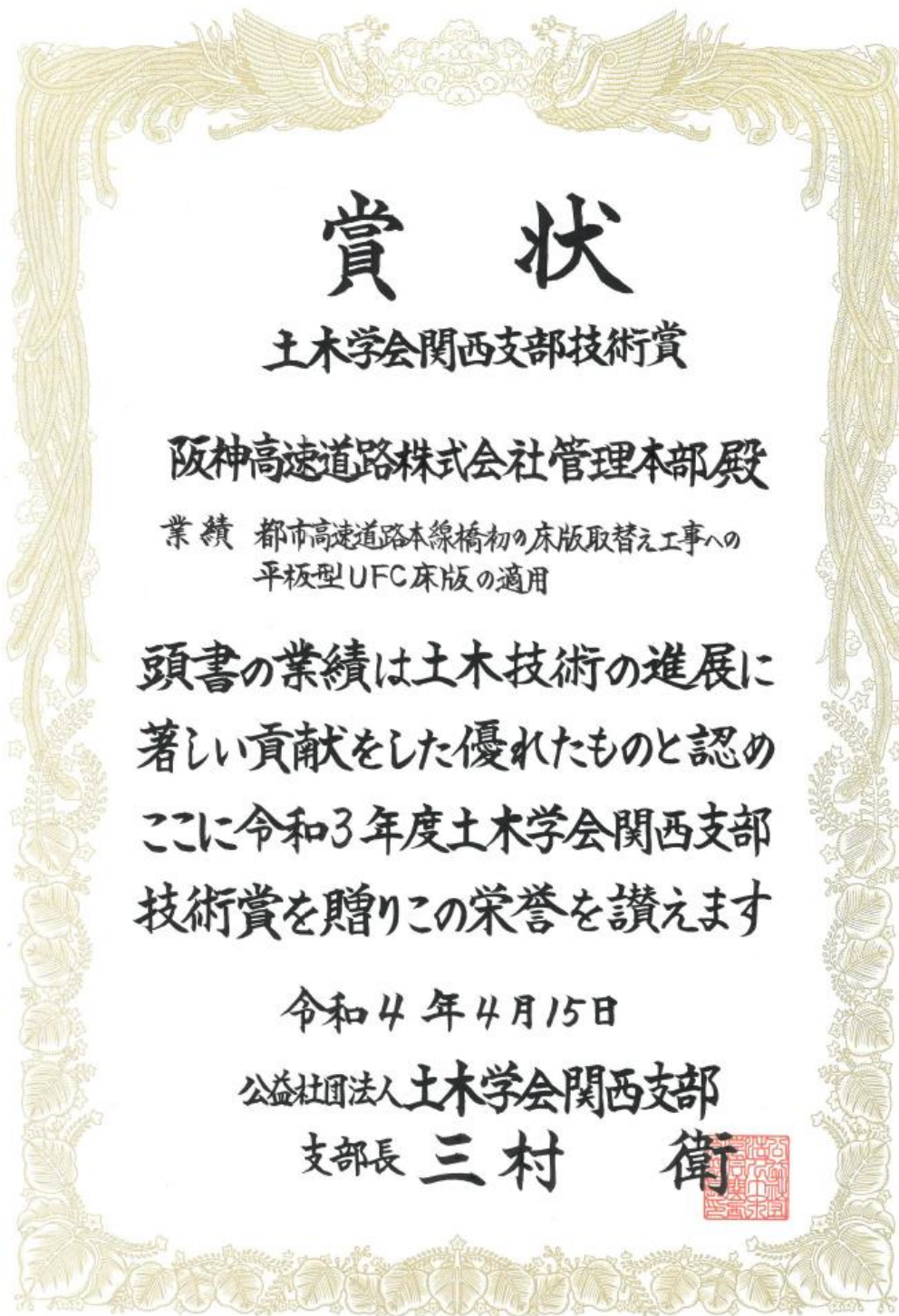
関 西 道 路 研 究 会

会長 古 田 均



○土木学会関西支部 技術賞 受賞

「都市高速道路本線橋初の床版取り替え工事への平板型 UFC 床版の適用」
(阪神高速道路㈱、鹿島建設㈱)



<参考 2022 年度活動状況>

現場見学会の開催

○現場見学会の開催

日時：2022 年 5 月 12 日（木）12:45～16:45

場所：U F C 床版施工現場（堺線玉出入路、信濃橋入路、及び、震災資料保管庫（U F C 床版暴露試験体）

内容：U F C 床版の現地での設置状況視察、点検計画、結果の報告等
会員企業より 24 名の参加をいただき、対面で開催することができました。

その他 UFC 道路橋床版に係る関連情報

○土木学会 技術賞（I グループ）受賞

「先進技術の活用による道路橋床版更新の高度化（阪神高速 12 号守口線
床版更新工事への Hydro-Jet RD 工法と平板型 UFC 床版の適用）」
（阪神高速道路(株)、飛島建設(株)、鹿島建設(株)）

○プレストレストコンクリート工学会 作品賞（改築・改修部門）受賞

「阪神高速 12 号守口線の床版更新 -UFC 床版の適用による機能の回復と向上-」
（阪神高速道路(株)、鹿島建設(株)）

○現場見学会開催状況

日時：2022年5月12日（木）12:45～16:45

場所：U F C床版施工現場（堺線玉出入路、信濃橋入路）、震災資料保管庫（U F C床版暴露試験体）

内容：U F C床版の現地での設置状況視察、点検計画、結果の報告等

参加者数：会員企業より24名が参加



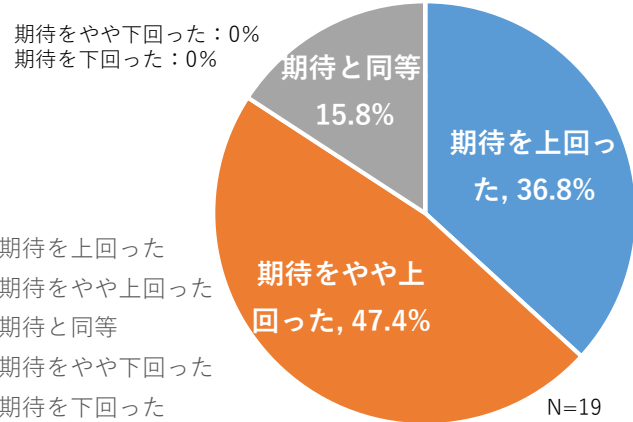
現場視察状況（玉出入路）



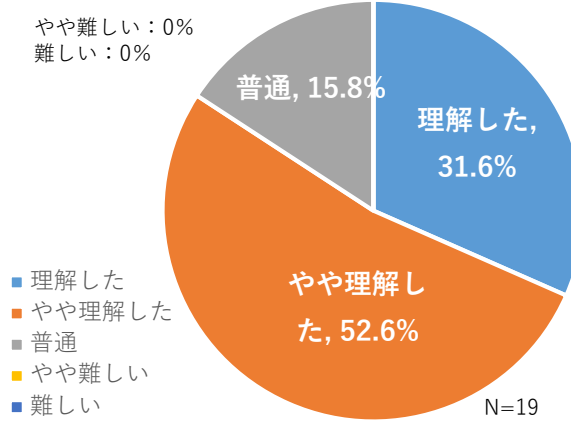
現場視察状況（震災資料保管庫）

○現場見学会アンケート結果

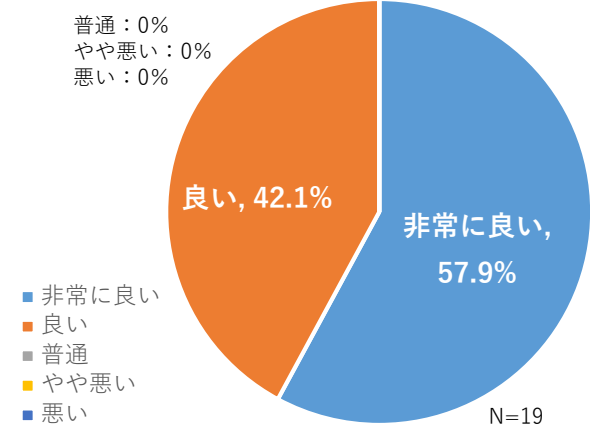
1. 見学会後の満足度を教えてください



2. UFC道路橋床版への理解について



3. プログラム構成について



<コメント（抜粋）>

- 見学前にYouTubeで予習をしていましたが、実際に現場に行き説明をしていただきながら自分の目でものを見ることでより理解を深めた。ワッフル型、平板型ともに見学することができたので満足。
- 現場では架設が完了されている床版を見学するだけだったので、施工時の苦労や気を遣った作業等を聞けると良かったと感じた。
- 各現場の特徴が記載されたパンフレットを確認しながら見学できたので、理解が深まりました。事前にUFC床版に関する動画のURLをいただいたことで、さらに理解が深まりました
- 現場見学会や意見交換会では、UFC床版の特徴について理解を深めることができました。同時に震災資料保管庫を見学できたことにより、地震発生時における技術者としての役割、安全な設計の重要性を再認識することができました。
- 製造時の様子や注意点等を知りたいと感じた。
- 今後、UFC床版を適用する工事がありましたら、床版の架設の様子も見学してみたい

第2号議案

2021年度決算（案）

（1）収 入

（単位：円）

項 目	予 算	決 算	備 考
入会金	200,000	200,000	
年会費	2,900,000	2,900,000	一般会員 27 団体、賛助会員 4 団体
利息	-	83	
前年度繰越金	9,139,968	9,139,968	
合 計	12,239,968	12,240,051	

（2）支 出

（単位：円）

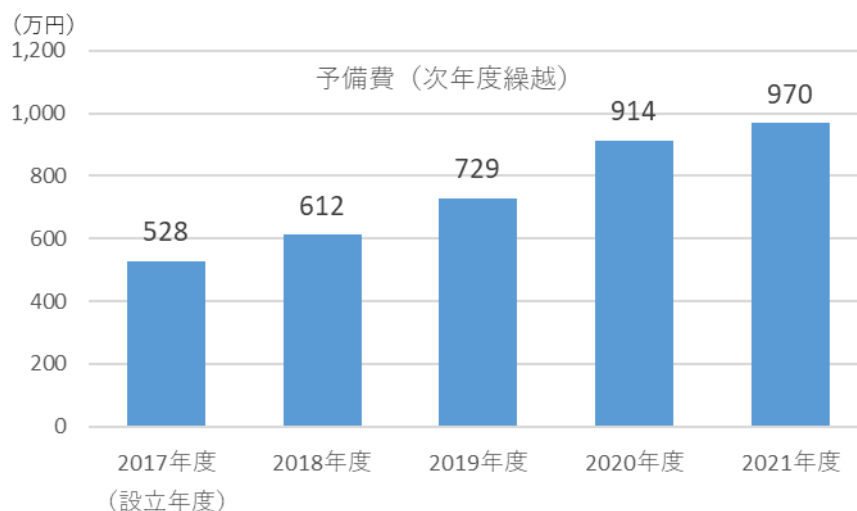
項 目	予 算	決 算	備 考
総会	200,000	165,140	定時総会 1回
技術委員会	300,000	0	
手引き作成	50,000	0	
広報費	500,000	176,000	橋梁新聞への掲載
現場視察等	500,000	0	
セミナー実施	1,400,000	803,194	会場使用料、配信業務委託費、講師への謝金
研究助成等	1,000,000	0	
諸雑費	20,000	12,054	残高証明書発行手数料、印紙・切手代等
事務局運営費	1,400,000	1,382,093	会則第21条の事務
予備費	6,869,968	9,701,570	次年度繰越金
合 計	12,239,968	12,240,051	

(参考)

繰越金の推移について

(単位:万円)

	2017年度 (設立年度)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
入会金・年会費等	735	290	320	280	310
前年度繰越	0	528	612	729	914
収入合計	735	818	932	1,009	1,224
支出	207	207	203	95	254
予備費（次年度繰越）	528	612	729	914	970



当研究会の会計において、予備費（次年度繰越）が継続的に増加している状況にある。特に2020年度においてはコロナにより思うように活動できなかったため、支出が少なく、予備費が大きく増えている。

今後は、U F C道路橋床版の技術の発展のため、一定の費用を必要とする技術的検討や研究者への助成の実施、セミナー・見学会を通じた会員への還元、広報活動によるU F C道路橋床版技術の普及等、効果的な予算の活用を検討する。

監査報告書

2022 年 4 月 20 日

UFC 道路橋床版研究会

会長 二羽 淳一郎 殿

会計監事

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

関西支店 総合技術部 構造グループ

西 川 啓 二



2021 年度 UFC 道路橋床版研究会の出納について、事務局である（一財）阪神高速先進技術研究所との契約書・入会者名簿に基づく入会金・年会費の入金確認、支出関係資料（伝票、領収書等）の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

2021 年 10 月 1 日の委託契約書に基づき、UFC 道路橋床版研究会名義の通帳による入金記録（一般会員 27 団体・賛助会員 4 団体）、出金記録・事務局の立替金・事務局経費の書類の監査を実施いたしました。

2. 監査の結果

入金記録、出金記録、事務局の立替金、事務局経費は適正に管理されているものと認めます。

以 上

監査報告書

2022 年 4 月 8 日

UFC 道路橋床版研究会

会長 二羽 淳一郎 殿

会計監事

清水建設株式会社

関西支店 土木営業部

皿 海 章 雄 

2021 年度 UFC 道路橋床版研究会の出納について、事務局である（一財）阪神高速先進技術研究所との契約書・入会者名簿に基づく入会金・年会費の入金確認、支出関係資料（伝票、領収書等）の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

2021 年 10 月 1 日の委託契約書に基づき、UFC 道路橋床版研究会名義の通帳による入金記録（一般会員 27 団体・賛助会員 4 団体）、出金記録・事務局の立替金・事務局経費の書類の監査を実施いたしました。

2. 監査の結果

入金記録、出金記録、事務局の立替金、事務局経費は適正に管理されているものと認めます。

以 上

会員入会の承認

会則第 5 条(1)及び(2)の規定に基づく入会申し出のあった以下の法人に対し、会則第 5 条(3)の規定に基づき、新規での会員入会を提案します。

特別会員

会 員 名	代 表 者
西日本高速道路株式会社	代表取締役社長 前川 秀和

一般会員

会 員 名	代 表 者
株式会社 I H I インフラシステム	代表取締役社長 石原 進

<参考>研究会会則

第 4 条 本研究会の会員は、次の区分によって構成される。なお、会員の区分が明確でない場合には総会にて決定する。

- (1) 特別会員：国、自治体、公社、高速道路会社、財団法人であり、本研究会の目的及び事業に賛同し、総会により入会が認められた団体。
- (2) 一般会員：本技術に関する設計、製作、施工及び維持管理などの業務を行う法人であり、本研究会の目的及び事業に賛同し、総会により入会が認められた法人。

第 5 条 本研究会への入会を希望する法人は、次の手続きをしなければならない。

- (1) 特別会員に該当する団体及び法人は、入会申込書及び特別会員 又は 一般会員からの推薦状を第 21 条に規定する事務局に提出するものとする。
- (2) 一般会員及び賛助会員に該当する法人は、入会申込書、入会希望理由書及び特別会員 又は 一般会員からの推薦状を第 21 条に規定する事務局に提出するものとする。
- (3) 特別会員の入会は総会の承認、一般会員の入会は、幹事会の確認の上、総会の承認を得て決定する

(西日本高速道路株式会社 入会申込書)

UFC 道路橋床版研究会 会長殿

UFC 道路橋床版研究会 入会申込書

[特別会員, 一般会員, 賛助会員] (いずれかを○で囲む)

UFC 道路橋床版研究会の趣旨に賛同し、添付資料を添えて入会を申し込みます。
なお、入会後は、関係法令及び貴会の会則並びに諸規程を遵守し、その規定に従うことを
誓約いたします。

2022 年 4 月 15 日

団体(法人)名

西日本高速道路株式会社

印

団体(法人)代表者役職・氏名

代表取締役社長 前川 秀和

団体(法人)住所 〒530-0003

大阪府大阪市北区堂島1-6-20

代表電話番号: 06-6344-7392

ホームページURL: <https://www.w-nexco.co.jp/>

【研究会との連絡窓口担当者】

所属部署: 技術本部技術環境部 構造技術課

役職・氏名: 松尾 祐典

住所 〒530-0003

大阪府大阪市北区堂島1-6-20

電話番号: 06-6344-7392

E-mail: y.matsuo.ab@w-nexco.co.jp

【添付資料】 団体の概要書ないし経歴書を添付してください。

20170205

(西日本高速道路株式会社 推薦状)

2022年4月20日

UFC 道路橋床版研究会
事務局長 殿

推 薦 状

下記会社を UFC 道路橋床版研究会の入会を推薦いたします。

記

会社名 西日本高速道路株式会社
所在地 大阪府大阪市北区堂島1-6-20
電話番号 06-6344-7392
代表者 前川 秀和
代表者役職 代表取締役社長

推薦会社

①会員会社名 阪神高速道路株式会社
 (推薦者) フェロー(技術総括) 金治英貞

530-0006 大阪市北区中之島 3-2-4
TEL:06-6232-6540、FAX:06-6203-8324
hidesada-kanaji@hanshin-exp.co.jp

以 上

(株式会社 I H I インフラシステム 入会申込書)

UFC 道路橋床版研究会 会長殿

UFC 道路橋床版研究会 入会申込書

[特別会員, 一般会員, 賛助会員] (いずれかを○で囲む)

UFC 道路橋床版研究会の趣旨に賛同し、添付資料を添えて入会を申し込みます。
なお、入会後は、関係法令及び貴会の会則並びに諸規程を遵守し、その規定に従うことを
誓約いたします。

令和4年 3月 18日

団体(法人)名

株式会社 I H I インフラシステム



団体(法人)代表者役職・氏名

代表取締役社長 石原 進

団体(法人)住所 〒590-0977

大阪府堺市堺区大浜西町3番地

代表電話番号: 072-223-0981

ホームページ URL: <https://www.ihl.co.jp/iis/index.html>

【研究会との連絡窓口担当者】

所属部署: 事業戦略本部 プロポーザル部 営業グループ

役職・氏名: 課長 寺崎 博道

住 所 〒530-0005

大阪市北区中之島三丁目2番4号(中之島フェスティバルタワー・ウエスト 6F)

電話番号: 06-7730-9826

E-mail: terasaki9479@ihi-g.com

【添付資料】 団体の概要書ないし経歴書を添付してください。

20170205

UFC 道路橋床版研究会

入会希望理由書

以下の理由により、UFC 道路橋床版研究会への入会を希望します。

<希望理由>

弊社では、「技術をもって社会の発展に貢献する」という IHI グループ経営理念の下、国内外で橋梁・水門の設計・製作・建設技術を磨き、良質な社会資本の提供を目指しております。つきましては、UFC を用いた道路橋床版の設計、製作、施工及び維持管理に関わる技術の向上、ならびに普及を通じて社会貢献し
たく思っております。一般会員としての入会を希望したくよろしくお願い申し上げます。

令和4年 3 月 18 日

会社名 株式会社 IHI インフラシステム

氏 名 寺崎 博道



印

(株式会社 I H I インフラシステム 推薦状)

令和4年3月18日

UFC 道路橋床版研究会
事務局長 殿

推 薦 状

下記会社を UFC 道路橋床版研究会の入会を推薦いたします。

記

会社名 株式会社 I H I インフラシステム

所在地 〒590-0977
大阪府堺市堺区大浜西町3番地

電話番号 072-223-0981

代表者 石原 遼

代表者役職 代表取締役社長

推薦会社

①会員会社名 阪神高速道路株式会社

金治 英貞 印

以 上

2022 年度事業計画

UFC 床版の道路橋への試験適用の状況も踏まえ、設計・施工等に係る技術的知見の情報収集を継続的に実施するとともに、当該技術情報の会員への還元等に向けた施策に積極的に取り組む。さらに、各種広報手段等を活用した本研究会の魅力向上や UFC 床版の道路橋への適用技術の普及促進に努め、本研究会の発展に資する施策に着実に取り組む。

1. 「UFC 床版の設計・製作・施工・維持管理の手引き(案)」の継続的な更新
一昨年度部分改訂を行った「UFC 床版の設計・製作・施工・維持管理の手引き(案)」に関し、実橋での試験適用で得られた新たな技術的知見の反映など、適宜改訂を行う。
2. UFC 床版の実際の適用現場における見学会等の開催
本研究会会員を対象として、UFC 床版の道路橋への適用現場等を対象とした視察・見学会の開催、及び既に試験適用された箇所での技術情報についての勉強会等を企画・開催する。
3. 本技術の普及・展開に関わる技術 PR、対外発表などの広報活動、及び関連技術情報の収集
 - ・協会、学会等が主催するシンポジウム等での情報提供・収集、及び雑誌・新聞等における研究会活動の PR を実施。さらに研究会ホームページの技術情報等のコンテンツの充実をはかる。
 - ・本技術の普及・展開、情報発信、情報交換を目的として、本研究会主催のセミナー実施について検討（開催は翌年度を想定）。
4. 本技術の発展に関わる研究助成の実施
UFC 床版の品質向上、品質保証等に関する研究、海外での事例調査等、本技術の発展に関わる研究等に対し助成を行う。
5. 幹事会、技術委員会の開催
幹事会については必要に応じ適宜開催する。技術委員会においては、本技術の普及のための特定課題（生産性向上）に関する検討を行うほか、必要に応じて適宜開催する。

※各種活動の実施に際しては新型コロナウイルス感染症対策に十分に留意するとともに、WEB ツールの活用も含めた多様な実施手法についても併せて検討する。

第5号議案

2022年度予算（案）

（1）収 入

（単位：円）

項 目	予 算	備 考
入会金	200,000	一般会員 1 団体
年会費	3,000,000	一般会員 28 団体、賛助会員 4 団体
前年度繰越金	9,701,570	2021年度繰越金
合 計	12,901,570	

（2）支 出

（単位：円）

項 目	予 算	備 考
総会	200,000	定時総会 1回
技術委員会	300,000	技術委員会 1回、ワーキング 3回
手引き作成	50,000	マニュアル改訂
広報費	1,000,000	技術展示、雑誌、新聞への広告掲載、研究会HPの充実、ノベルティ作成等
現場視察等	1,000,000	現地視察、勉強会等の開催
研究助成等	1,000,000	本技術の発展に係る活動の助成
特定課題検討	5,000,000	特定課題（生産性向上）に関する検討費用 ・UFC床版合成桁の最適構造の検討（約250万円） ・UFC床版合成桁の標準適用支間長の検討（同上）
諸雑費	20,000	
事務局運営費	1,400,000	会則第21条の事務（セミナー、見学会、研究助成等の実施に係る事務含む）
予備費	2,931,570	
合 計	12,901,570	

参考資料

会 則 及 び 細 則
役 員 名 簿
会 員 名 簿
技 術 委 員 会 名 簿

UFC 道路橋床版研究会

UFC 道路橋床版研究会会則

第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 本会は、UFC 道路橋床版研究会（以下、「本研究会」という）と称する。

(目的)

第 2 条 本研究会は、公益社団法人土木学会等の公的機関から技術評価を受けている超高強度繊維補強コンクリート（UFC）を用いた道路橋床版の設計、製作、施工及び維持管理に関わる技術（以下、「本技術」という）の向上、ならびに普及を通じて社会に貢献することを目的とする。

(事業)

第 3 条 本研究会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 本技術の品質確保に関わる技術評価、品質管理、技術指導、技術課題の解決。
- (2) 本技術の改善・改良、新しい構造の研究・開発。
- (3) 本技術に関するマニュアルなどの技術資料の整備、展開。
- (4) 本技術の普及・展開に関わる技術 PR、対外発表などの広報活動、及び関連技術情報の収集。
- (5) その他、本研究会の目的を達成するために必要な事項。

第 2 章 会 員

(会員)

第 4 条 本研究会の会員は、次の区分によって構成される。なお、会員の区分が明確でない場合には総会にて決定する。

- (1) 特別会員：国、自治体、公社、高速道路会社、財団法人であり、本研究会の目的及び事業に賛同し、総会により入会が認められた団体。
- (2) 一般会員：本技術に関する設計、製作、施工及び維持管理などの業務を行う法人であり、本研究会の目的及び事業に賛同し、総会により入会が認められた法人。
- (3) 賛助会員：本技術に係わる材料の製造又は供給に携わる法人で、本研究会の目的及び事業に賛同し、総会により入会が認められた法人。

(入会)

第 5 条 本研究会への入会を希望する法人は、次の手続きをしなければならない。

- (1) 特別会員に該当する団体及び法人は、入会申込書及び特別会員又は一般会員からの推薦状を第 21 条に規定する事務局に提出するものとする。
- (2) 一般会員及び賛助会員に該当する法人は、入会申込書、入会希望理由書及び特別会員又は一般会員からの推薦状を第 21 条に規定する事務局に提出するものとする。
- (3) 特別会員の入会は総会の承認、一般会員の入会は、幹事会の確認の上、総会の承認を得て決定する。
- (4) 研究会設立時の各会員については推薦状を不要とし、設立総会にて入会を承認する。

(会員の義務)

第6条 会員は、次の義務を負う。

- (1) 本会則を順守し、第3条の本研究会の事業の推進に努めるものとする。
- (2) 本研究会の活動を通じて知り得た秘密にすべき技術情報等を会員以外の第三者に開示してはならない。
- (3) 一般会員は、本技術の実施時に本研究会より技術指導を受けなければならない。
- (4) 一般会員は、毎年四月に前年度の本技術の適用実績を事務局に報告する。

(会員の権利)

第7条 会員は、以下の権利を有する。

- (1) 本技術の実施等に関わる技術情報等の入手

(会員資格の喪失)

第8条 会員は次の各号の一に該当する場合は、その資格を失う。

- (1) 退会
- (2) 除名
- 2 会員資格を喪失したものは、前条に規定する会員としての一切の権利を失い、本研究会が有する財産に対してなんらの請求をすることができない。
- 3 本研究会の活動を通じて知り得た技術情報などのうち秘密にすべき事項については、会員資格の喪失後においても第三者に開示してはならない。

(退会)

第9条 会員が本研究会を退会しようとするときは、理由を付した退会届を30日以上予告期間をおいて会長に提出しなければならない。

(除名)

第10条 本研究会は会員が次の各号の一に該当するときは、総会の議決を得てこれを除名することができる。

- (1) 本研究会の目的若しくは事業を妨げる行為をしたとき。
- (2) その他、本研究会の会員としての義務を怠ったとき。

第3章 役員

(役員)

第11条 本研究会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 幹事長 1名
- (3) 幹事 若干名
- (4) 事務局長 1名
- (5) 会計監事 2名

(役員を選任)

第12条 幹事は、第4条に定める特別会員及び一般会員の互選による。

- 2 会長は、幹事会が推薦し総会にて承認する。
- 3 幹事長は、幹事の互選による。

- 4 事務局長、会計監事は、総会の承認を得て会長が委嘱する。幹事長と事務局長は、重複を妨げない。
- 5 本条第1項及び本条第3項に規定する役員に関するうち、任期中に退任した役員の補欠者については、幹事会からの推薦を受け、会長が指名する。

(役員の職務)

第13条 役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は本研究会を代表し、会務を統括するとともに総会の議長となる。
- (2) 幹事長は幹事会を統括するとともに、会長を補佐し、会長に事故がある時その職務を代行する。
- (3) 幹事は幹事会を構成し、会務の執行に当たる。
- (4) 事務局長は事務局を代表し、職務の執行に当たる。
- (5) 会計監事は本研究会の収支決算の監査を行う。

(役員の任期)

第14条 役員の任期は、就任の日から2年後の総会までとする。ただし、再任を妨げない。

- 2 任期途中で交代した役員の任期は、前任者の任期満了の日までとする。

(役員の解任)

第15条 役員に本研究会の役員としてふさわしくない行為があったときは、総会の議決により、これを解任することができる。

第4章 会 議

(会議)

第16条 本研究会は総会を置く。

- 2 委員会などを設置する場合は、別に定める。

(総会)

第17条 総会は、特別会員及び一般会員をもって構成する。

- 2 総会は、定時総会と臨時総会とする。

- (1) 定時総会は、毎年度期のはじめの適切な時期に開催する。
- (2) 臨時総会は、会長が必要と認めた場合に開催する。

- 3 総会は会長が召集し、その議長を務める。

- 4 全ての特別会員及び一般会員の書面又は電磁記録の提出により、総会の審議を行うことができる。

(総会の審議事項)

第18条 総会は次の事項を審議する。

- (1) 第3条に定める事業の計画、予算及び決算
- (2) 本会則及び細則の改廃
- (3) 会員の入会・除名
- (4) 役員等の承認
- (5) 委員会等の設置又は廃止

(6) 本研究会の解散

(7) その他、会長が必要と認める事項

(総会の議決権)

第 19 条 全ての特別会員と一般会員は総会において各 1 個の議決権を有する。

2 議決権の行使はこれを委任することができる。

(総会の議決)

第 20 条 総会は全会員の三分の二以上の出席（委任状提出者を含む）により開催することができる。

2 総会の議決は出席会員（委任状提出者を含む）の過半数の同意による。可・否同数のときは議長がこれを決する。

第 5 章 事務局

(事務局)

第 21 条 本研究会は、以下の事務を執行するため事務局を置く。

- (1) 入会の受付
- (2) 会議開催に関する連絡・事務
- (3) 本技術の実績の把握
- (4) 技術資料等の管理
- (5) 会計処理
- (6) その他、必要な事項

2 事務の執行に必要な経費については、本研究会から事務局に支払う。

第 6 章 会 費

(会費)

第 22 条 本研究会の運営資金は、入会金、年会費をもって賄うものとする。ただし、総会の議決により必要があるとされた場合は、臨時会費を徴収することができる。

2 会員は、別途細則に定める入会金及び年会費を納入する。

3 入会金、会費は、いかなる事由によっても返却しない。

(会計)

第 23 条 会長は、会計年度毎に収支予算書を作成し、定時総会で承認を得ることとする。

2 会長は、会計年度毎に決算書を作成し、会計監事の監査を受けるとともに、定時総会で承認を得る。

3 本研究会の会計年度は、4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までとする。

第 7 章 知的財産

(知的財産の取扱い)

第 24 条 本研究会が行う事業において会員が共同で発明を行ったときは、当該特許権等は発明に関係した会員の共有とする。共有に係る特許権等の取り扱いは、当該会員が協議の上、定めるものとする。

- 2 前項の共有に係る特許権等について共同で出願等を行うときは、持ち分及び実施条件等を協議のうえ、共同出願契約を締結するものとする。
- 3 前二項の規定は本研究会において生じた発明等に係る知的財産権（特許権及び著作権を除く。）の取扱いに準用する。なお、著作権の取扱いは第 25 条の規定による。

（関連著作物の取扱い）

第 25 条 本研究会の成果として著作物（プログラムの著作物を含む。以下本条において同じ。）が得られた場合は、当該著作物の著作権の帰属及び実施（プログラムの著作物をコンピュータで使用する行為を含む。）その他の取扱いは、当該著作物を創作した会員が別途協議の上、書面により定めるものとする。

（成果の公表）

第 26 条 会員は、本研究会の事業の成果を第三者に公表しようとするときは、事前に文書又は電磁的記録により、全会員の同意を得るものとする。ただし、既に公知の場合はこの限りではない。

- 2 前項の義務は、会員が本研究会を退会した後も引き続き存続するものとする。

第 8 章 その他

（解散）

第 27 条 本研究会は、総会において会員の三分の二以上の同意をもって解散することができる。

- 2 解散した場合における残余財産の取扱いについては解散時の総会において審議するものとする。

（協議）

第 28 条 本会則に定めなき事項、運用において疑義が生じた事項については、総会の議決をもって解決する。

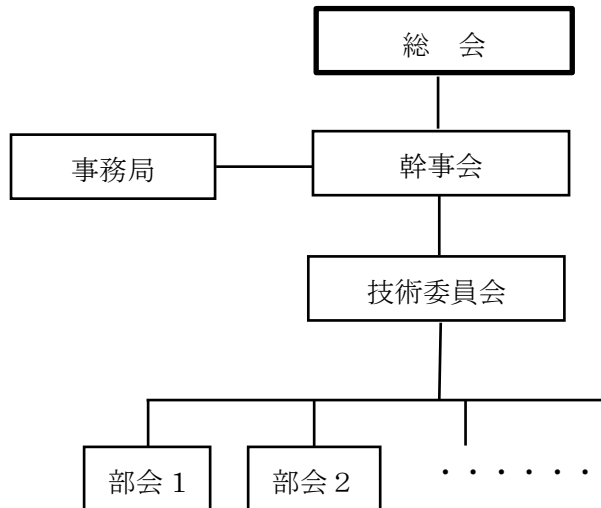
（施行）

第 29 条 本会則は、平成 29 年 5 月 30 日から施行する。

UFC 道路橋床版研究会細則

(組織)

第 1 条 本研究会の組織を以下のとおりとする。



2 技術委員会のもとに、部会を設けることができる。

第 2 条 幹事会は、次の事項を審議する。

- (1) 総会で決議する議案などに関する事項。
- (2) その他、本研究会の運営に関する事項。

第 3 条 技術委員会は、次の事業を行う。

- (1) 本技術の品質確保に関わる技術評価、品質管理、技術指導、技術課題の解決。
- (2) 本技術の改善・改良、新しい構造の研究・開発。
- (3) 本技術に関わる設計・施工・維持管理に関するマニュアルなどの技術資料の整備、展開。
- (4) 本技術の普及・展開に関わる技術 PR、対外発表、及び関連技術情報の収集。
- (5) その他、本技術に関する事項。

第 4 条 技術委員会の委員は、会員に所属する者もしくは、本技術に関する有識者のうち、会長が委嘱した者とする。

2 委員の任期は 2 年とする。ただし、再任は妨げない。

3 会長は、委員が解嘱を申し出たとき、その他委員として適当でないと認めるときは、その委員を解嘱するものとする。

第 5 条 各委員会には委員長を置く。

2 委員長は委員の中から会長が指名し委嘱する。

(会費等)

第6条 会員は、会則第22条に定める入会金及び年会費は次のとおりとする。

	入会金	年会費
特別会員	0 円	0 円
一般会員	200,000 円	100,000 円
賛助会員	100,000 円	50,000 円

(謝金等)

第7条 総会、委員会に出席した有識者委員(会員に属さない委員)には、次表に基づき謝金(日当及び近距離交通費を含む)を支払う。

	謝金
会長	30,000 円
技術委員長	20,000 円
委員	20,000 円

2 支払いに際しては、所定の税務処理を行う。

(旅費等)

第8条 総会、委員会に出席した有識者委員(会員に属さない委員)には、次表に基づき旅費を支払う。

	旅 費
近距離交通費	2,000 円 (ただし、謝金に含む)
2,000 円を超える場合	実 費
宿泊を伴う場合	実 費

2 支払いに際しては、所定の税務処理を行う。

(その他)

第9条 本細則は、総会において承認を得た場合に改廃できるものとする。

第10条 本細則に定めなき事項、運用において疑義が生じた事項については、総会の決議を得て解決する。

第11条 本細則は、平成29年5月30日から施行する。

UFC道路橋床版研究会 役員

役職	氏 名	所 属 先
会 長	二羽 淳一郎	東京工業大学 名誉教授
幹事長	金治 英貞	阪神高速道路（株）
幹 事	福本 育央	鹿島建設（株）
	友田 富雄	日本工営（株）
	八木 洋介	（株）富士ピー・エス
	室田 敬	三井住友建設（株）
	丹羽 信弘	中央復建コンサルタンツ（株）
	太田 和宏	（株）IHIインフラ建設
事務局長	西岡 勉	（一財）阪神高速先進技術研究所
会計監事	西川 啓二	（株）オリエンタルコンサルタンツ
	皿海 章雄	清水建設（株）

UFC道路橋床版研究会 会員

特別会員

会員名	代表者	
	部署・役職	氏名
阪神高速道路(株)	代表取締役社長	吉田 光市
(一財)阪神高速先進技術研究所	理事長	西岡 敬治

一般会員

(建設コンサルタント等)

会員名	代表者	
	部署・役職	氏名
(株)オリエンタルコンサルタンツ	代表取締役社長	野崎 秀則
(株)建設技術研究所	代表取締役社長	中村 哲己
(株)総合技術コンサルタント	常務取締役大阪支社長	宋 華文
大日本コンサルタント(株)	大阪支社長	大貝 和也
中央復建コンサルタンツ(株)	代表取締役社長	兼塚 卓也
(株)長大	構造事業本部 第2構造事業部長	西村 一朗
日本工営(株)	交通運輸事業本部 事業本部長	山手 弘之
(株)日本構造橋梁研究所	代表取締役社長	前田 晴人
パンフィックコンサルタンツ(株)	交通基盤事業本部 構造技術部長	山口 恒太
阪神高速技研(株)	代表取締役社長	川北 司郎
阪神高速技術(株)	代表取締役社長	立石 泰三
中央コンサルタンツ(株)	執行役員支店長	木津 敦弥

(建設会社)

会員名	代表者	
	部署・役職	氏名
(株)IHIインフラ建設	取締役 営業本部長	太田 和宏
オリエンタル白石(株)	執行役員営業本部長	大信田 秀治
鹿島建設(株)	代表取締役副社長 土木管理本部長	茅野 正恭
カジマ・リノベイト(株)	施工本部 技師長	大塚 一雄
昭和コンクリート工業(株)	取締役 技術工事本部本部長	森 宏行
清水建設(株)	土木技術本部長	中満 光広
東洋建設(株)	取締役専務執行役員 土木事業本部長	大林 東壽
ドーピー建設工業(株)	代表取締役	稲田 義行
(株)富士ピー・エス	代表取締役社長	堤 忠彦
三井住友建設(株)	土木本部土木技術部長	長谷川 弘明
エム・エムブリッジ(株)	取締役社長	池浦 正裕

(製造会社)

会員名	代表者	
	部署・役職	氏名
(株)技建	代表取締役社長	津波古 健二
都築コンクリート工業(株)	代表取締役社長	前田 直之
日本コンクリート工業(株)	代表取締役社長	塚本 博
ケイコン(株)	代表取締役社長	荒川 崇

賛助会員

会員名	代表者	
	部署・役職	氏名
(株)北川鉄工所	取締役執行役員 東京支店支店長	藤本 一
GCPケミカルズ(株)	代表取締役	関口 忠男
住友電気工業(株)	常務執行役員特殊線事業本部長	佐野 裕一
デンカ(株)	代表取締役社長	山本 学

(敬称略)

UFC道路橋床版研究会 技術委員会

役 職		所 属 先	氏 名
委員長		岐阜大学 教授	内田 裕市
有識者		埼玉大学 教授	奥井 義昭
		神戸大学 准教授	三木 朋広
委 員	特別 会員	阪神高速道路(株) 技術部 技術推進室長	茂呂 拓実
		(一財)阪神高速先進技術研究所 理事	西岡 勉
	一般 会員	(株)オリエンタルコンサルタンツ 関西支社構造部 次長	西川 啓二
		(株)建設技術研究所 大阪本社構造部 次長	光川 直宏
		(株)総合技術コンサルタント 大阪支社構造Ⅱ部 次長	渡邊 裕規
		大日本コンサルタント(株) 大阪支社技術部長	佐藤 秀雄
		中央復建コンサルタンツ(株) 構造系部門 技師長	丹羽 信弘
		(株)長大 構造事業本部 副技師長	舘 浩司
		日本工営(株) 大阪支店 交通都市部 次長	仲村 賢一
		(株)日本構造橋梁研究所 大阪支社 設計部 課長	池田 良介
		パシフィックコンサルタンツ(株) 交通基盤事業本部 構造技術部	小林 篤司
		阪神高速技研(株) 技術部 設計課長	丹波 寛夫
		阪神高速技術(株) 技術部長	深川 季秋
		中央コンサルタンツ(株) 大阪支店 設計1部3課 課長	井原 貴浩
		(株)IHIインフラ建設 開発部	高木 祐介
		オリエンタル白石(株) 本社技術本部 技術研究所 主任研究員	俵 道和
		鹿島建設(株) 技術研究所 担当部長	一宮 利通
		鹿島建設(株) 土木部 担当部長	齋藤 公生
		カジマ・リノベイト(株) 取締役 技術本部長	岡本 二郎
		昭和コンクリート工業(株) 営業本部 開発部 担当課長	国井 優嗣
		清水建設(株) 土木技術本部 橋梁統括部 主査	崎山 郁夫
		東洋建設(株) 美浦研究所（材料研究室）主任研究員	森田 浩史
		ドーピー建設工業(株) 技術部 課長	長谷川 剛
		(株)富士ピー・エス 技術センター エンジニアリンググループ サブリーダー	山口 光俊
		三井住友建設(株) 土木本部 土木技術部 構造技術グループ 課長	竹之井 勇
		エム・エムブリッジ(株) 生産・技術部 保全・エンジニアリンググループ 主席	前川 勉
		(株)技建 設計室長	宮野 伸介
		都築コンクリート工業(株) 営業部・技術部取締役部長	本田 和之
		日本コンクリート工業(株) 技術開発部 土木・建材グループ 課長	山岸 健治
		ケイコン(株) 製品事業部 技術部 設計グループ 課長	松崎 進
	賛助 会員	(株)北川鉄工所 サンテックカンパニー プラント統括部 技術課 係長	亀田 尚明
		GCPケミカルズ(株) 技術部 課長代理	澤田 誠一
		住友電気工業(株) 特殊線事業部 PC技術部長	松原 喜之
		デンカ(株) 青海インフラ技術研究部	前田 拓海

(敬称略)